



カケハシ・プロジェクト（米国） 沖縄プログラム招へい第2陣（Cambridge School of Weston）の記録

1. プログラム概要

【目的・概要】

沖縄プログラムは、日米両国の高校生による相互交流プログラムであり、今回は、マサチューセッツ州ボストン市の Cambridge School of Weston の高校生 9 名を、日米に対する理解促進を目的として東京都と沖縄県に招へいしました。東京都滞在中は、浅草を視察し、日本科学未来館では先端技術を学びました。沖縄県ではホームステイを通じて日本の文化に触れ、沖縄県立宮古高等学校との相互交流を行い、互いの理解と友情を深めました。これらの経験を通じて、日本の文化や社会に触れ、得た学びや気づきを発信しました。

【参加者】米国の高校生 9 名及び引率者 2 名 合計 11 名

【訪問地】東京都、沖縄県

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

3 月 4 日（火曜日） 【来日前オリエンテーション】事業目的・ミッション、日程説明、
渡航上の注意、感染症対策等

来日までの指定期間 【動画視聴】日本理解講義（Web Japan より選択）

■ 招へいプログラム：

3 月 12 日（水曜日） 成田国際空港より入国
【来日時オリエンテーション】

3 月 13 日（木曜日） 東京都から沖縄県へ移動
【文化体験】さとうきび搾り体験（きび茶屋）

3 月 14 日（金曜日） 【表敬訪問】宮古島市長 嘉数 登 氏
【視察】伊良部大橋

【学校交流】沖縄県立宮古高等学校

【ホストファミリー対面式】

3 月 15 日（土曜日） 【ホームステイ】沖縄県立宮古高等学校

3 月 16 日（日曜日） 【ホストファミリー歓送会】

沖縄県から東京都へ移動

3 月 17 日（月曜日） 【視察】日本科学未来館

【視察】浅草

【ワークショップ】報告会準備（訪日成果のとりまとめ、帰国後の活動計画
（アクション・プラン）の作成）

3 月 18 日（火曜日） 【報告会】訪日成果・帰国後の活動計画発表
成田国際空港より出国

2. 記録写真

招へいプログラム



2025 年 3 月 13 日【文化体験】
さとうきび搾り体験（きび茶屋）



2025 年 3 月 14 日【表敬訪問】
宮古島市長 嘉数 登 氏



2025 年 3 月 14 日【学校交流】
沖縄県立宮古島高等学校



2025 年 3 月 15 日【ホームステイ】



2025 年 3 月 17 日【視察】浅草



2025 年 3 月 17 日【視察】日本科学未来館



2025 年 3 月 18 日【報告会】



2025 年 3 月 18 日【報告会】集合写真

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 高校生

宮古島でのホームステイは本当に楽しかったです！日本の地方を訪問し、日本の文化に浸ることができ、多くの学びを得た経験でした。日本語の単語や日本の習慣を多く学び、一生の友人となる人々にも出会えました。これからも日本語の学習を続け、特に「いただきます」と「ごちそうさま」という伝統や、日本文化の一部を友人や家族に紹介していきたいと思っています。

◆ 高校生

同年代の学生と交流し、学校生活を体験することは、とても素晴らしい時間でした！宮古島の文化を学んだことや、島の色々な場所を探訪したこともとても楽しかったです。ホストファミリーは素晴らしく、絆ができ、宮古島特有の食べ物を食べたほか、日本語を学ぶことができました。ホームステイの期間がもっと長ければ、普段の日常生活をより深く理解できると思います。

◆ 高校生

今回の交流プログラムで最も印象的だったのは、宮古高校の授業に参加したことです。書道で書き方や日本語を学ぶことができました。日本の学校では、英語学習に様々な方法が使われていることも知りました。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 交流校職員

職員、生徒一同にとって大変貴重で有意義な時間を過ごすことができ、また訪日団の皆様の温かい接し方や人柄に感動していました。

◆ ホストファミリー

食事については何も問題なく、さまざまなものを召し上がっていただくことができました。沖縄の文化や歴史について話したら、歓送会にて「ホストファミリーが沖縄の文化や歴史について教えてくれた。たくさん学べた。」と言ってくれたことが印象に残っています。宮古島や日本の魅力を上手く発信出来るように英語学習や自国文化の理解に努めたいです。

5. 参加者の対外発信（抜粋）

 ♡ 👤 📌 CSW's Kakehashi Project is back! Our 2025 participants are heading to Japan for a week! In Japanese, Kakehashi means building bridges. The Kakehashi Project is a government-funded grassroots exchange program that brings groups of Americans to Japan for engaging, focused and customized experiences. 3月12日 · 翻訳を見る	 ♡ 👤 📌 Yesterday we visited Irabu bridge, had a courtesy call with the mayor, and went to school! Irabu bridge has pipes that bring both water and electricity to the island. At the end of the day we met our host families, and then headed off to bed! 5日前 · 翻訳を見る
---	--

2025 年 3 月 12 日 (Instagram) 高校生 CSW の「カケハシ・プロジェクト」が帰ってきました！2025 年の参加者は、これから 1 週間の日本滞在に出発します！日本語で「カケハシ」とは「橋を架ける」という意味です。「カケハシ・プロジェクト」は、政府出資による草の根交流プログラムで、米国人のグループを日本に招き、参加型でグループに合わせたテーマの体験を提供しています。	2025 年 3 月 15 日 (Instagram) 高校生 昨日は伊良部大橋を訪れ、市長を表敬訪問し、学校を訪問しました！伊良部大橋には、島に水と電気を供給するパイプが通っています。一日の最後にはホストファミリーと会い、それから眠りにつきました！
---	--

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表（抜粋）

訪問地：東京都、沖縄県 全 1 グループ発表

	Visual Culture * Shisa is a special festival in Okinawa. It is a great opportunity to see the festival and to experience the festival. * Shisa is a festival in Okinawa. It is a great opportunity to see the festival and to experience the festival. * Shisa is a festival in Okinawa. It is a great opportunity to see the festival and to experience the festival. 	Workshop When: All Kakehashi 2025 (CSW) participants, to the greater school community What: A workshop presentation to CSW → Shisa, shisa festival, Taborida When: TBD → During break, weekend activity, or as an after school activity Where: In a school classroom How: Various activities/stations that each address a different aspect of Japanese culture
【成果の発表】 ◆ 訪日中の学び： 産業、家族のありかた、健康とウェルネス、家の建築（和室）、目に見える文化、食文化、尊敬の文化、音楽などに、多くの発見と相違点を見つけました。 ◆ 今後の展望： 多国籍の人々が居住する地域であるため、言語の壁を越えたコミュニケーションと地域コミュニティの強化に今回の経験を活かしたいと思っています。 【アクション・プラン】 学校内で 4 月から 5 月にかけて、昼食時や課外活動時間を利用し、日本文化に関するワークショップを開催します。また、今回のカケハシの経験を学生集会の際に発表したいと思います。宮古島には独特の文化と歴史があり、相互文化理解の機会を設けることで今後の日米の架け橋となることを目指します。		

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）